教職課程と英語科教育法のコアカリキュラム

プロローグ

筆者はこれまで教職課程を意識した論文や実務報告をしてきた。その中でも英語科教育法について着目してきたものとして、「大学の教職課程と教員養成における英語教育」(佐々木a 1-15)、「教員養成のための英語教育」(佐々木b 135-145)、「学習指導要領と英語教員養成」(佐々木c 1-13)、「新しい学習指導要領と小学校英語について」(佐々木d 1-27)、「英語科教育法に関する一考察―実践例と今後の展開―」(佐々木f 1-27)、「教育課程と学習指導要領：教職課程で取り扱うべき内容」(佐々木l 1-28) を発表してきた。教職課程は学習指導要領の改訂や教職課程の再課程認定などの影響を受け、課程自体の見直しや授業内容の見直しを迫られることになる。学習指導要領は約 10 年ごとに改訂されることを考えると、授業担当者もこれに合わせて自身の業績を更新していく必要がある。ここでは実際の授業のシラバスを作成する際に求められるコアカリキュラム中の「教材」の在り方に注目していきたい。

1　英語科教育法の位置付け

教職課程は教育職員免許法別表第1備考第5号イ及び同法施行規則第21 条の規定により申請し、審査を受け、認定を受けて初めて開設することができる。英語関係について注目してみよう。新しく導入された小学校英語については以下のようになっている。

小・教科及び教科の指導法に関する科目①教科に関する専門的事項
外国語　小学校英語　必修2単位　　児童英語　選択2単位
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目　総合英語　選択2単位

小学校英語については別の機会でまた触れることとし、指導法に関する科目に注目しておきたい。法令的には以下のようになろう。

小・教科及び教科の指導法に関する科目
各教科の指導法
外国語　外国語（英語）指導法　必修2単位

中・教科及び教科の指導法に関する科目）
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）　必修8単位

高・教科及び教科の指導法に関する科目
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）　必修 2 単位（ただし4単位以上設置）

教科に関する指導法は必修科目である。

2　外国語（英語）コアカリキュラム

教職課程のコアカリキュラムは質的水準を一定にするために考えられたものである。その経緯については教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会「教職課程コアカリキュラム」（2017年11月17日）には以下のように述べられている。

…平成13年の「国立の教員養成系大学・学部の在り方に関する懇談会」の報告以降、幾度となく同様の趣旨の提言や試案が審議会や関係団体等においてなされてきた。直近では、平成27年の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」において「大学が教職課程に編成するに当たり参考とする指針（教職課程コアカリキュラム）を関係者が共同で作成することで、教員の養

成、研修を通じた教員育成における全国的な水準の確保を行っていくことが必要である。」との提言を受けている（教職課程　1)。

「水準の確保」と言いながらも各大学の自主性も同時に認めている。

教職課程コアカリキュラムは、教育職員免許法及び同志向規則に基づき全国すべての大学の教職課程で共通的に修得すべき資質能力を示すものである。

各大学においては、教職課程コアカリキュラムの定める内容を学生に修得させたうえで、これに加えて、地域や学校現場のニーズに対応した教育内容や、大学の自主性や独自性を発揮した教育内容を修得させることが当然である。したがって、教職課程コアカリキュラムは地域や学校現場のニーズや大学の自主性や独自性が教職課程に反映させることを阻害するものではなく、むしろ、それらを尊重した上で、各大学が責任をもって教員養成に取り組み教師を育成する仕組みを構築することで教職課程全体の質保証を目指すものである（教職課程　2)。

「外国語（英語）コアカリキュラムについて」は以下のように 説明されている。

1 全体の構成と各項目の位置づけ

外国語（英語）コアカリキュラムは，「外国語／英語科の指導法」及び「外国語／英語科に関する専門的事項」で構成され，それぞれにおいて，「全体目標」「一般目標」「学習項目」「到達目標」が示さ れている。「全体目標」は，「外国語／英語科の指導法」及び「外国語／英語科に関する専門的事項」 において達成すべき包括的な目標である。「一般目標」は，学習すべき内容のまとまりごとに設定された目標である。「学習項目」は，それぞれの内容のまとまりにおいて扱うべき具体的な項目であり，「到達目標」は，個々の学習項目において

達成すべき目標である（文部科学省総合教育政策局 a　225)。

以降はコアカリキュラムを小学校の指導法から高等学校まで順に見ておきたい（文部科学省総合教育政策局 b)。

（1）小学校：外国語の指導法

全体目標：小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

1．授業実践に必要な知識・理解

1－（1）小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

一般目標：小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。

到達目標：1）小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。

2）主教材の趣旨、構成、特徴について理解している。

3）小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。

4）様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。

1－（2）子供の第二言語習得についての知識とその活用

一般目標：児童期の第二言語習得の特徴について理解する。

到達目標：1）言語使用を通して言語を習得することを理解し、指導に生かすことができる。

2）音声によるインプットの内容の類推から理解へと進むプロセスを経ることを理解し、指導に生かすことができる。

3）児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方を理解し、指導に生かすことができる。

4）コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。

5）受信から発信、音声から文字へと進むプロセスを理解し、指導に生かすことができる。

6）国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解し、指導に生かすことができる。

2．授業実践

2－（1）指導技術

一般目標：実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。

到達目標：1）児童の発話につながるよう、効果的に英語で語りかけることができる。

2）児童の英語での発話を引き出し、児童とのやり取りを進めることができる。

3）文字言語との出合わせ方、読む活動・書く活動への導き方について理解し、指導に生かすことができる。

2－（2）授業づくり

一般目標：実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。

到達目標：1）題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定・教材研究ができる。

2）学習到達目標に基づいた指導計画（年間指導計画、単元計画、学習指導案、短時間学習等の授業時間の設定を含めたカリキュラム・マネジメント等）について理解し、学習指導案を立案することができる。

3）ALT 等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方について理解している。

4）ICT 等の効果的な活用の仕方について理解し、指導に生かすことができる。

5）学習状況の評価(パフォーマンス評価や学習到達目標の

活用を含む)について理解している。

（２）中高：英語科の指導法

全体目標：中学校及び高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける

一般目標：中学校及び高等学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書（教科書）について理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解する。また、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領並びに教材、教科書について知るとともに、小・中・高等学校の連携の在り方について理解する。

到達目標：１）中学校及び高等学校の外国語（英語）の学習指導要領について理解している。

２）中学校及び高等学校の外国語（英語）の教科書について理解している。

３）学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の３つの資質・能力（以下、「３つの資質・能力」という）とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。

４）小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教科書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

（２）生徒の資質・能力を高める指導

一般目標：中学校及び高等学校における３つの資質・能力を踏まえた「５つの領域」（「聞くこと」「読むこと」「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」及び「書くこと」）の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合

した言語活動の指導方法を身に付ける。また、教材や ICT の活用方法を知るとともに、英語による授業展開や ALT 等とのティーム・ティーチングの方法について理解する。さらに、生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。

到達目標：1）聞くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

2）読むことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

3）話すこと［やり取り・発表］の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

4）書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

5）複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

6）英語の音声的な特徴に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

7）文字の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

8）　語彙、表現に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

9）文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

10）異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

11）教材及び ICT の活用について理解し、授業指導に生かすことができる。

12）英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。

13）ALT 等とのティーム・ティーチングについて理解し、授

業指導に生かすことができる。

１４）生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。

（３）授業づくり

一般目標：中学校及び高等学校の学習到達目標に基づく各学年や科目（高等学校）の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。

到達目標：１）学習到達目標に基づく授業の組立てについて理解し、授業指導に生かすことができる。

２）学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。

（４）学習評価

一般目標：中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、さらに、評定への総括の仕方について理解する。また、言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと［やり取り・発表］」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」（生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法）について理解する。

到達目標：１）観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。

２）言語能力の測定と評価（パフォーマンス評価等を含む）について理解し、指導に生かすことができる。

（５）第二言語習得

一般目標：学習者が第二言語・外国語を習得するプロセスについて基礎的な内容を理解し、授業指導に生かすことができる。

到達目標：1）第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。

英語科のコアカリキュラムが整備されたのは小学校英語の導入と無縁ではない。

学習指導要領改訂にともなう、「小学校の外国語（英語）教科化」の実施（2018年度移行措置、2020年度全面実施、第5学年と第6学年が対象）によって、現職小学校教員の研修が喫緊の課題であることがコアカリキュラム策定の大きな原動力であったとされる（伊東 2-3)。

中学校及び高等学校のコアカリキュラムは同一となっている。小学校英語の指導観点では第二言語習得に関することが6項目、中学校・高等学校になるとこれが1項目となっている。生徒の資質・能力を高める指導は中学校・高等学校になると14項目が設定されていることが大きな特徴となっている。

当然のことであるが、教職課程の学生は自身の英語力を高めると同時に指導の在り方も学ぶことになる。教科にかかわらず、自身の知識や教養、能力がいくら高くても、「人に教える、教授する力」はイコールとは限らない。「9）文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。」では、英文を読む時、あるいは書くときに特に求められる力である。英語が4領域から5領域になったことから、「話す」領域に注目が集まるが、文法をおろそかにすることはできないのは言うまでもないことだ。

3　指導法の授業：教材研究を中心に

筆者は再課程認定を受ける以前、2008年度より武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部の教職課程で英語科教育法を担当している。中

学・高等学校の英語科の教職課程である。英語科教育法Ⅰ～Ⅳ（各2単位）まで設置している。一時期は英語科教育法Ⅰ～Ⅳまで担当し、教育実習など巡回指導をしていたこともあるが、2025年度は英語科教育法Ⅱを担当している。科目の位置づけは中学校教諭の場合には英語科教育法Ⅰ～Ⅳが必修、高等学校教諭の場合には英語科教育法Ⅰだけが必修の扱いとなっている。

筆者自身は「中学校教諭一級普通免許状　教科　外国語（英語）」及び「高等学校教諭一級普通免許状　教科　外国語（英語）」の免許状保有者であり、実際に中学校及び高等学校で英語科の教員として15年以上の勤務経験がある。当然のことながらこうした実務経験が授業に生かされていることは言うまでもないことだ。学校以外のところでも小学生に英語に関係する講座を担当した経験もある。

筆者が現在担当している英語科教育法Ⅱでこだわっているのは教材研究である。学習指導要領だけを読んでいても実際の教授法には役には立たない。また、教授法だけを学んでいても授業を円滑に進めることはできない。当然そこには模擬授業をはじめ、発表などの場数を踏むことが必要である。中学・高等学校の現場を経験していればわかることだが、教科書だけを教えていればいいというわけではない。教科書の内容をさらに深めるために、例文などを集めたプリントや練習用の英文を記載したプリント、副教材を用意して活用することが多くなるだろう。こうしたことから筆者の担当する英語科教育法Ⅱでは教材研究に注目している。

教材研究には2つの方向性がある。第1は教科書、第2は自主作成の教材である。第1の教科書については、英語科教育法Ⅱの履修者に最初の授業において高等学校で使用した教科書を持参してもらっている。英語科教育法Ⅱは大学2年生が配当学年になっているが、この学年は改訂後の高等学校学習指導要領で学び高校を卒業した学年である。履修者は複数の高校を卒業した学生から構成されているため、他校で使用した教科書を見ることも教職課程履修者にとっては視野を広げることになるからだ。生徒としてではなく、将来教員をなることを目指す教職課程履修

者としての立場で教科書を見ることは意味のあることだ。教員の立場で教科書がどのように構成されているのかを改めてみると、違ったものが見えてくるからだ。

第2は自主作成の教材である。授業への興味・関心を高めるような教材を意識している。検定教科書には限界もあり、これを補う形でたとえ、それが例文ひとつでもその出所が興味や関心のあるものから取られているだけでも、印象は大きく変わる。

> Interest の問題はかってのヘルバルトの教育学に於ては極めて重要な概念であったが、現代の教育方法学では、これを発展させて自己の到達すべき goal に内在している誘発力（inducing power）が motivation であり、goal に外在的なものを interest といい、この両者を区別している（大沢　114)。

現場の教員にとって必要なのは、単に pattern practice をこなしていくことではない。例文は前後関係もなく無味乾燥のものが多いため、「どこかで聞いたこと（見たこと）がある」、あるいは「あそこで使われていた表現だ」など生徒が興味や関心を持つことで、学習意欲の継続につながる可能性があるからだ。大沢の指摘のよう外在的なものかもしれないが、授業が単調にならない工夫としては大きな役割を担うだろう。

教員は日々確信をもって授業をしているというよりは、よりよい授業をするために試行錯誤で進めているのではないだろうか。中学校や高等学校では複数クラスを担当することがあれば、前と全く同じ授業を単に繰り返すのだろうか。振り返りなどを行い、次の授業では前の授業で気になるところを変えることもあるだろう。

4　教材研究としての英訳マンガの可能性

筆者がこだわったのはどうしたら生徒が授業に興味や関心をもっても

らえるかということだ。得てして中学生は高校受験のために、高校生は大学受験のために英語を勉強するという意識が強い反面、純粋に英語を話せるようになりたいという思いもある（ベネッセ a）（ベネッセ b)。いくら会話重視となっている昨今の状況でも、授業では英文の解説・説明を全くしないということにはならないだろう。このため、例文などでも無味乾燥のものではなく、そこからでもちょっとした興味・関心が引き出せないか、というのが教員の授業に対する工夫である。そこで筆者がこだわるのが英訳版のマンガである。アニメ化されていれば、それがたとえ日本語であってもかなり有効である。大学の授業（教職課程以外の英語の授業も含む）や高等学校で行う模擬授業、現在は廃止されたが教員免許状更新講習（佐々木 f 56-57）（佐々木 g 45-46）（佐々木 h 114-119）（佐々木i 116-121）（佐々木j 118-121)でも現役教員を対象にした講習でもマンガやアニメを活用した授業や講習を行った経緯がある。講習録は 2017 年度から作成されたが、教員免許状更新講習が開始された 2011 年度の担当分野「英語教育に関する指導力の向上」よりこうした取り組みを行ってきた。

筆者の教材に関する考え方は次の通りである。

1　生徒が興味・関心があるもので、よく知られているものを活用する。
2　教員が興味・関心があるもので、生徒に充分に説明できるものを活用する。
3　中学校や高等学校での使用を考えると、5〜15 分程度でも活用できるようなもの。

上記の３つを同時にクリヤできるようなものが望ましい。時間の問題はある程度工夫次第だが、第１と第２の共通項はかなり難しいが、突破口になりうるものが、マンガ、アニメ、ゲームにその可能性を見出すことができる。教員免許状更新講習では若手の教員ほど自身がマンガ、アニ

メ、ゲームに慣れ親しんでいることが多く、50代以上の教員では自身があまりマンガやアニメを見ていなかったために、講習では教員自身が受講生として楽しむことはできても、これを教材として自身が活用できるかどうかは難しいといったような意見もあった。同様なことは2014年12月13日の日本英語文化学会での発表「英語の教材研究事例～ポップカルチャーの活用：アニメ・マンガを中心に」（昭和女子大学）（佐々木p　34）でも、英訳マンガの教材としての活用が有益であることはわかるものの、「実際に自分ではできない。あなたしかできない」といった意見もあった。これは汎用性という点から大きな問題がある。授業が画一的に行われないという弱点もあるものの、授業はマシーンが教えるのではなく、生きた人間が担当することを考えれば、教員の個性や特性が生かされる授業があっても当然だ。海外に全く行ったことのない教員、長い期間海外留学をしていた教員、帰国生徒として海外体験のある教員、親が外国人である教員などその家庭環境の違いも、英語の授業では反映されることになる。マンガ、アニメ、ゲームに対する世代間による親和性や考え方は異なる。では実際に教材として利用した場合の利点はどうであろうか。

長谷川潔・森住衛編『英語教育教材事典　楽しく学ぶ英語の教材』（1988）では「マンガ教材を使う利点」として 8 点を取り上げている。

1）行間を読むことや、直読直解、鑑賞などが読本に比べマンガでは欠かすことができないし、また、割と容易に学習できる。

2）ユーモア、話の簡潔なまとめ方、ことばの巧みな使い方などを短時間で要領よく学習することができる。

3）文法的な検討を特にしないで、文だけでなく絵を含めて全体を理解・鑑賞することが要求される。欠落しがちなノンバーバルコミュニケーションを補うことができる。

4）口語英語を体験できる。マンガでは登場人物の表情やジェスチャー、また、言葉を表記しているので、強調すべき語を強調して発言し、

間投詞はもちろん、発話自体、それにふさわしい感情をこめて言いやすい。

5）生徒に役割をきわめて対話形式で発表させることにより、聞き、話す領域の活動を活性化しやすい。

6）理解・鑑賞がすんだ段階で内容を生徒自身の英語で表現しやすい、生徒自身の作ったセリフで口調での発表も可能である。

7）擬音語、擬態語などに慣れ、生徒自ら工夫して作り出すことも可能である。

8）扱い方によっては息抜きの作用もある（長谷川・森住　349)。

また音声を伴うアニメやドラマ・映画の場合の利点についても次のような指摘がある。

畠山薫編『英語教材ガイド 2023 年版』(2023）では「最強の英語教材編」「英会話編」「TOEIC®L&R テスト編」「英検編」となっているが、「最強の英語教材編」では「英語力アップに効く！海外ドラマ・映画・アニメ 21 選」が取り上げられている。この中で「海外ドラマ・映画を英語学習に取り入れる４つの理由」として以下を紹介している。

1　会話のスピード
2　多彩な口語表現
3　教材としてのバリエーション
4　楽しく続けることができる（高瀬他編　52)

また、「英語学習に合う作品選び５つのポイントとして以下を紹介している。

1　何度も見たくなるくらい好きな作品であること
2　子ども向けのものから始めること
3　ドラマは１話完結のものを選ぶこと

4　中級者には恋愛ものや学園もの
5　シナリオや原作を読める作品（高瀬他編　52）

中村一也『僕が無料の英語マンガで楽に TOEIC900 点を取って、映画の英語を字幕なしでリスニングできるワケ』(2015) では次のように述べている。

マンガ英語を勉強する利点は３点あります。１点目は日常の自然な英語表現が多数出てくることです。学校や職場で使う英語、ショッピングをしている時の英語など、様々な英語に触れることができます。マンガを通して英語での日常生活を疑似体験することができるのです。

２点目はマンガの「ストーリー」や「絵」と一緒に言葉を記憶できることです。知らない単語が出てきた時、もちろん辞書を引きます。そしてその記憶の手助けをしてくれるのがマンガの「スターリー」と「絵」なのです。単語帳などの例文は確かに便利ですが、マンガのような文脈もイメージも与えてくれないのです。

３点目は使われている言葉が簡単で気軽に読めることです。(中村一也　23-24)。

筆者が教材としてのマンガにこだわるには３つの大きな理由がある。第１は生徒の興味関心を喚起し、第２に生徒にとって身近な話題であること、第３にマンガはおもに独白と会話から成り立っているという点である。

第１の生徒に関心興味を喚起することについては、マンガ、アニメ、ゲームがすでにポップカルチャーとして日常生活に入り込んでいること、世代で言えば、親子で共通したコンテンツを享受していることもある。学校行事で合唱コンクールなどを開催しているところもあるが、いわゆるポップスなどが採用されていたり、ダンスなどはまさに今はやっている曲が使用されるなど、教育界にポップカルチャーが入り込んでいる。

教員がわかっているからといって、あまり昔のマンガを利用しても、今の生徒が知っているものでなければ、興味・関心を引き起こすのは難しいだろう。

第2の生徒にとって身近な話題であることは、マンガ、アニメ、ゲームは今や当たり前と言ってよいだろう。萩原弘子「英語の授業における視聴覚教育の役割」(1992) でも教材としての可能性について次のように述べている。

最近の生徒たちにとって、どのような視聴覚教材が有効な学習効果をもたらすだろうか。テレビや漫画文化の中で育った生徒たちは、言語表現とその背景との関係を直感的にとらえる能力は優れているが、うわべだけの知識獲得に終わっていないだろうか。また生徒の興味・関心は多様化しており、学習指導においても一斉授業だけでなく、個別化した授業や、ペア・ワーク、グループ・ワークなどで変化をもたせた指導が必要であり、それに適した教材が求められている。

言語習得のための理想な視聴覚教材は、学習者がそれを見たり、聞いたりした時に、なんらかの方法で聞いたり、話したりしたくなるようにしむける教材である。なぜならば、人が聞いたり、話したりしたいと思う時は、思考と言語との間に密接なつながりが現れるかである。このつながりが密接でればあるほど、使用される言語は理解され、記憶に長くとどめられるものである。したがって目に見えるもの、耳に聞こえるもののすべてが最適の教材というわけではない。Topicsが身近なもので生徒の興味・関心をひくものであり、視覚的には動きに変化があり、色感やセンスが豊かで、ユーモアやウイットに富んでおり、聴覚的には音声・効果音を含めて、日常的によく聞かれる自然なトーン、スピードのものが望ましい。また、学習したことを、必ずフィードバックさせ、定期的にテストし、評価することは、学習に進める上で大切である（萩原　229-230)。

産経オンライン英会話 Plus「中学生・高校生に身近なテーマ 20 選「トッピクトーク for students」リリース」(2025 年 05 月 27 日 9 時 00 分)では以下のように発表された。

1．中高生にとって身近な 20 レッスンを収録
全 20 レッスンは、これまでリリースしたトピックの中から学生にとって身近な「学校行事」「話題」「部活」「友達」「教科」などの 15 レッスンと、新しく「修学旅行」「放課後の過ごし方」など 5 つのトピックを追加し作成しました。
＜全 20 テーマ＞

アニメ	音楽	部活	学校行事	アルバイト
映画	スポーツ	教科	友達	卒業
読書	長期休み	試験	家族	留学
放課後の過ごし方	B 級グルメ	ファッション	ゲーム	修学旅行

(産経オンライン英会話 Plus)

アニメやゲームがここに入っていることは教材として活用できるものとして認識されているということだろう。もちろん、この背景にマンガの存在を感じることは言うまでもないことだ。

第 3 にマンガはおもに独白と会話から成り立っているという点である。すなわち、マンガは独白と会話から成り立っているため、スチュエーションを適切に選択し、利用すればよい教材となる。『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』(2018) の目標には次のようにある。

> (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすること

ができる力を養う（文部科学省　14)。

会話の教材として活用する場合には学習指導要領の意図に合ったものを選択し、かつ生徒の関心を引くようなものを教材とすることが重要だろう。

筆者はマンガを教材として考える時に次のことを意識している。

1　登場人物が中学生や高校生が中心。
2　学校が舞台になっているストーリー。
3　生徒の間で流行っているもの。

いわゆるTVドラマや映画の名作などは大人の話であるため、内容は深くなるため、表現も難しくなる。一方、日本のマンガはいわゆる学園物と呼ばれるジャンルがあり、部活動などが中心に展開される、青春もの、ちょっとしたラブロマンスなどが加わることがある。みんなのランキング「【人気投票 1~85 位】高校生漫画人気ランキング！高校生が登場するおすすめの漫画は？」（最終更新日：2025/09/08）でトップテンは以下の通りとなる。

高校生漫画ランキング

1位　『思い、思われ、ふり、ふられ』
2位　『ちはやふる』
3位　『SLAM DUNK』
4位　『俺物語!!』
5位　『古見さんは、コミュ症です。』
6位　『花野井くんと恋の病』
7位　『青のフラッグ』
8位　『斉木楠雄のΨ難』
9位　『君に届け』

10位　『ハイキュー!!』

中学生はどうであろうか。

BEST PRESENT Ranking「少年漫画・コミックのプレゼントランキング 2025(中学生)」

1位　『スラムダンク』
2位　『黒子のバスケ』
3位　『こち亀』
4位　『ドラゴンボール』
5位　『フェアリーテイル』
6位　『テニスの王子様』
7位　『銀魂』
8位　『ハンター×ハンター』
9位　『名探偵コナン』
10位　『ナルト』

マンガやアニメ、ゲームの人気度は時期や調査方法により異なるが、中学生や高校生がメインキャラクターとなり、さらに学校が舞台となる作品がランキングされていることは活用する際の一助になるだろう。部活動という観点からみれば、バスケットボール、バレーボール、テニスが扱われている。身近な話題という点では、登場人物が中学生や高校生、さらにストーリーが学校を中心に展開されているとなれば、中学生や高校生にとっては等身大の内容となる。こうしたことが会話として繰り広げられれば、第1の点と第2の点も同時に該当することとなろう。

粕谷恭子研究者代表「「英語教員養成コアカリキュラムの検証と具体的・包括的プログラムの開発」報告書」(2021) では小学校から高等学校までの英語のコアカリキュラムについて取り扱っているが、小学校の指導法では「絵本や児童文学の教材を使った指導」(粕谷　37) は取り

上げられているものの、マンガやアニメを活用した教材については言及はない。

5　教材についての配慮事項

『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』(2018) の「教材についての配慮事項」では次のように示している。

3　教材については，次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は，五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するため，各科目の五つの領域別の目標と２に示す内容との関係について，単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに，実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げること。その際，各科目の内容の (1) に示す文法事項などを中心とした構成とならないよう十分に留意し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などを設定した上で，言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すこと（文部科学省 137)。

当然５領域にまたがる教材が最もふさわしいことは言うまでもない。しかし、マンガを教材として活用した場合には、「読む」「話す（やりとり)」「話す（発表)」、「書く」などの領域でカバーできる。マンガが映像化されたアニメで、さらに英語の音声があれば、さらに「聞く」もカバーできる。少なくても４領域カバーできることになる。

さて、教科書以外での使用する教材には教科書の内容の理解をさらに含める役割が期待される。こうした教材では教科書では目にしないが、生徒に興味関心のあるものが取り上げられていれば、さらに効果は高まるだろう。

大沢茂『現代英語科教育法の研究—学習心理学的考察—』(1965) では次のように述べている。

motivation は通常内的な motivation と外的な motivation とに分かれる。前者は行動それ自身に関心をもって行動するようにすることであり、後者は賞賛や賞品をうるために一定の行動をするというように目的が行動の外にある場合である。

ここで外国語として英語の学習における motivation とはどのような場合に起こることがあるだろうか。

(1) 生徒の能力に適する学習材料をあたえること。
(2) 生徒の好む形態の学習材料をそなえていること。
(3) 生徒の興味に一致した学習材料をあてること。
(4) 特殊な工夫や方法で学習材料をあてえること。
(5) 外国語としての英語を学習する雰囲気をつくること。
(6) 視聴覚的方法や工夫で学習に期待を持たせること。
(7) 何故英語を学習するかという目的をはっきり知らせること。
(8) 単調さを回避すること。
(9) 進歩を劇化して学習の効果がはっきりさせること。
(10) 学問をする喜びをあたえて競争場面を構成すること。
(11) 学習行動に賞または罰を加えること。

の場合に motivate されるのであるが、この外英語教師の人格や言語的能力もまたその背景になることは勿論である。motivation は興味 (interest) とは異なるものである。Interest の問題はかってのヘルバルトの教育学に於ては極めて重要な概念であったが、現代の教育方法学では、これを発展させて自己の到達すべき goal に内在している誘発力 (inducing power) が motivation であり、goal に外在的なものを interest といい、この両者を区別している (大沢　113-114)。

60 年ほど前のものであるが、AV 機材の進歩やコンテンツが多様化して

いるが、授業の在り方、進め方の基本はそれほど変わっていない。

羽鳥は教材としての教科書の難点についても触れている。

> 筆者の考えでは、英語学習の興味を起こすには、（1）音声、（2）身近か、（3）わかる、（4）使える、という4つのことが条件であるが、身近かであることには、地理的な身近かなことと時間的に身近なであることの2つの面がある。時間的に身近かであるためには、教材がひんぱんに改訂出来る必要がある。ところが検定教科書は検定制度の関係で早くても3年に1度しか改訂できない。したがって、検定教科書だけを使てっていると本当に学習の時間にふさわしい話題をとりいれることはあまり期待できない（羽鳥　306)。

これは教科書が検定制度に基づいていることから新しさという点では大きな弱点だ。さらに1度制作された教科書は大きな問題がなければそのまま数年は使用されることになる。中学校も高等学校も3年で1サイクルとなるため、世の中の流れが速くなっている現状を考えるとあまりにも一過性のものを採用すると、その時は関心度が高くなるものの、3・4年後はどうなるかはわからない。

筆者がマンガを教材として活用しようという観点では「（1）身近、（2）わかる、（3）使える」を最も重視している。さらにマンガの英訳版を利用すると、読む、話すの領域にも活用できる。聞くの領域については英語版のアニメがあればこの領域もカバーできる。しかしこれらには英訳版のマンガを入手すること、アニメなど多言語対応のDVDやBlu-rayも可能な限り入手するか、動画が視聴できる環境を整えてく必要がある。自主制作には時間がかかる上に手間もかかる。

6　模擬授業の効用

ここでいう模擬授業は2つの意味がある。第1は教科の指導法におい

て学生が、生徒役と教師役に分かれて行う授業である。第２は教科の指導法の担当教員が、高等学校等において行う模擬授業である。よく出前授業などとも呼ばれる。これは高等学校では進路指導の一環として行わわれることが多く、おもに高校２年生を対象に実施されることが多い。おもに高等学校から依頼された大学受験に係る業者が仲介し、大学がこれを受けて参加することが多い。参加する場合には有料の場合もあれば、無料の場合もある。

第１について言えば、教科の指導法の中で、教育実習前に行われる最も実践的な体験だろう。

> 模擬授業およびそのフィールドは、自ずと実践的な習得形態をとることになる。そこで、今まで講義形式でのみ扱われがちであったテーマについてどのような方法で取り上げられていくのかが課題となる。
>
> 教授法に関する諸理論については、学生に、生徒や教師役のロールプレイを通して体験させる、ということが習得の基本となってくる。講義形式に比べて時間がかかるという予測については、多少ポイントを絞ってうえでも、体験を通して確実な定着を図ることを優先させる仕分けが必要であろう。また、体験型の学習が必ずしも時間的な非効率をもたらすとは限らない。なぜならば多くの言語活動は互いに統合・連携されており、ひとつの体験を通じて多くの情報を確認するが可能だからである（宇野　37)。

筆者も英語科教育法の中で模擬授業は実施している。模擬授業には４つの流れを重視している。

1　最初から長時間の模擬授業を設定せず、導入部分として5～10分程度の短時間のものから始める。
2　テーマ等を設定して事前にしっかりとした準備ができるようにする。

3　模擬授業後に振り返りをする。生徒役、教師役のそれぞれの振り返り。さらに教科法担当者の全体のコメント。

4　可能な限り、模擬授業の様子を客観的に捉えられるように、録画し、上記3の一助とする。

自分自身が授業をしている姿を見ることは学生にとっては新鮮な視点だろう。

第2の指導者が高校生や中学生に授業を行う機会については、筆者の場合には3つの場合がある。第1に大学で開講している高校生向けのコラボレーション講座、オープンキャンパスでの模擬授業。第2に通称、出前授業と言われるが、高等学校での模擬授業。第3については対象は小学生になるが子ども大学と言われる小学生を対象にした講座である。筆者が実際に中学校や高等学校の教員として英語を教えていたのはかなり前のことであるため、現在の中高生や小学生を対象にした授業を担当し、マンガやアニメを活用した授業を行った。もちろん、正規の授業ではないため、生徒や児童の反応をそのまま無条件に受け留めることはできないが、成績評価と関係がない分、純粋な興味・関心の度合いも強く感じることができる。

7　マンガ／アニメの効用

コアカリキュラムの到達目標に「生徒の資質・能力を高める指導」の「１１）教材及びICTの活用について理解し、授業指導に生かすことができる。」がある。

実際に現場に教員として授業に臨むようになると、教材研究する時間が十分にとれるかは難しいのが実情だ。この意味でも学生のうちに自分が得意のもの、興味関心のあるもので英語の教材を作成してみることは意味のあることだ。教材を作成し、これをもとにプレゼンテーションしたり、模擬授業することでその効果を実体験することができる。これに

はいくつかのポイントがある。

1　対象とする学年。中学生なのか、高校生なのか。さらにはどの学年なのかも大きな問題だ。
2　どの表現に注目するのか、教科書で狙いとして英文や表現との関連性が高いこと。

筆者が特に注目しているのは、マンガが会話から成り立っていることから、会話の練習として使えないかということだ。これまで筆者が大学の授業や高等学校の模擬授業で活用した例は以下の通りだ。

『鬼滅の刃　無限列車編』
※煉獄杏寿郎と猗窩座との会話（佐々木 m 30-41）
『転生したらスライムだった件』（佐々木 n 18－23）
※リムルとゴブリンとの会話
『ドラゴンクエスト　ダイの大冒険』
※ダイとレオナの会話（佐々木 o 12-13）
※ダイ、ブラス、アバンの会話（佐々木 o 17-18）
『葬送のフリーレン』
※フリーレン、ヒンメル、アイゼン、ハイターの会話
（佐々木 q 6-7）
※フリーレン、ヒンメルの会話（佐々木 q 12-13）
※フリーレン、ハイター（佐々木 q 23-24）
※フリーレン、フェルン（佐々木 q 27-28）

これ以外にもナレーションなどは英語のプレゼンテーションなどでも活用できる。『鬼滅の刃　無限列車編』はマンガ、TV アニメ、アニメ映画化され、アニメ映画はアメリカ版の Blu-ray では英語版も発売されている。音声と字幕ともに英語での再生が可能だ。英訳版のマンガと実際

の映画の英語セリフが異なることもあり、こうしたことも「聞く」ことでの学びにもなる。

筆者は以前、アニメの教材について次のように述べたことがある。

> では、どんなアニメが教材としてふさわしいのか、アニメを具体的にどう利用すれば、教材となりうるのか。ここでは４つのグループに分けてみたい。第１グループは、アニメ作品のキーワードがすぐに英単語と結びつくもの。第２グループは文学作品として世界中に知られているものがアニメ化されたものである。トーベ・ヤンソ」ン原作『ムーミン』、ヨハンナ・スピリ原作『アルプスの少女ハイジ』、ウィーダ（マリア・ルイーズ・ド・ラ・ラメー）原作『フランダースの犬』、マーク・トゥエイン原作『トム・ソーヤの冒険』は内容から言ってもすでに国際化を達成していることになる。第３グループは『もののけ姫』、『千と千尋の神隠し』等に代表されるように、日本だけでなく、国際的にも評価を受けているアニメ映画である。第４グループは日本オリジナルのアニメで国内外で人気のあるマンガ／アニメである。英語版の出版により英語教材としての活用が現実的である（佐々木ｅ　77-78)。

さらに２つほど新しいグループを加えるとすれば、第５グループとしてディズニー映画など、馴染みのある英語圏のアニメーション映画、中学生や高校生を対象にした場合には、最近はこれにもうひとつ第６グループとして、「主人公が中学生や高校生のマンガ／アニメ、あるいは中学校や高校が舞台となっているマンガ／アニメ」を付け加えておきたい。筆者が教材研究として取り上げたものとしては以下のものがある。

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『のだめカンタービレ』と『鬼滅の刃』を事例として―」（『新教育課程教育研究』第 20 号、武蔵野教育研究会、2020 年 11 月）

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『美少女戦士セーラームーン』と『名探偵コナン』を事例として―」(『新教育課程研究』第21号、武蔵野教育研究会、2020年12月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『呪術廻戦』を事例として」(『新教育課程研究』第34号、武蔵野教育研究会、2023年5月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『四月は君の嘘』を事例として」(『新教育課程研究』第39号、武蔵野教育研究会、2023年10月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『君に届け』を事例として」(『新教育課程研究』第40号、武蔵野教育研究会、2023年11月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『僕のヒーローアカデミア』を事例として」(『新教育課程研究』第42号、武蔵野教育研究会、2024年1月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察:『美少女戦士セーラームーン』を事例として」(『新教育課程研究』第47号、2024年6月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察:『推しの子』を事例として」(『新教育課程研究』第48号、2024年7月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察:『五等分の花嫁』を事例として」(『新教育課程研究』第49号、2024年8月)

「英訳マンガから見る英語表現の一考察:『ハイキュー!!』を事例として」(『新教育課程研究』第63号、2025年10月)

ファンタジー系を除き、比較的リアル世界の描いたものとしては『四月は君の嘘』、『君の届け』、『推しの子』、『五等分の花嫁』、『ハイキュー!!』などがあり、会話も生徒同士のものとなる。すべての作品がマンガ、アニメが揃っている。中には実写化された映画もある。連載中、放送中のものであれば、リアルタイムとなり、興味関心度はより高くなる。

8　教材への注目

教授法の中でも「教材研究」はこれまで大きく取り上げられることはなかった。そのことは筆者の「英語教材研究の一考察：教材の考え方」（2024）の「2　教材の捉え方」（佐々木 p 5-32）の表からも明らかである。筆者の調査では「教材研究」が教育辞典の項目となったのは周郷博『現代教育用語辞典』（1959）である。

> 教材研究　教育研究の勉強をしている人、あるいは代表にたずさわっている人、ことに小・中学校の教師にとっては欠くことのできない研究（周郷　75)。

ここでは小・中学校となっているが、教材研究は教育に携わる者にとっては学校種に関係はない。さらに日本教材学会が設立されたのは 1989 年 1 月である。日本教育学会が設立されたのが 1941 年であることを考えると、あまりにも後発である。

> 教材研究は「教育学の研究のうえでは極めてたちおくれた分野であるといわねばならない」（柴田 7)

かつて教材研究は指導法や教授法のごく一部としての取り扱いであったが、教材の重要性が見直されてきたといってよいだろう。多様化するコンテンツや AV 機器、IT 機器の発達により教育方法自体も大きく変容している。マンガやアニメで育った世代にとって、これが教材として登場することはむしろ当然のことだろう。特に、「聞く」の領域ではこうしたコンテンツの活用は有効である。

エピローグ

英語のコアカリキュラムは、教職課程の教育内容の水準を一定に保つ

質保証を目指すものである。しかし、一方で大学の自主性や独立性は認められているものである。コアカリキュラムでは「教材」の取り扱いは「生徒の資質・能力を高める指導」の「11　教材及びICTの活用について理解し、授業指導に生かすことができる」の1項目だけである。しかし、授業で5領域をどのように組み入れていくか、実際の授業をどのように進めていくかを具体的に考えていけば、教科書だけで進めようとしても限界がある。

教材も生徒にとって興味関心のあるもの、身近なものとして本稿ではマンガやアニメに注目した。実際の例文などについても拙著「マンガ・アニメを利用した英語教材研究」(2025) で紹介した（佐々木 r 1-14)。昨今の英語教育はコミュニケーション能力の獲得が重視され（文部科学省　6)、これにより「話すこと」が偏重され、文章の構成などが軽視されている傾向にもある。英語表現は必ずしも英会話や文法だけで処理するものではないのは明らかだ。教科書で習った表現が実際にどのように使用されているのか、身近なものでその英語表現が使用されていることを知ることは大きな刺激となる。この身近なものが英訳マンガであることは興味関心の喚起には効果的であり、教科書や辞書に載っている英文よりもより生きた英語として感じるのだ。

引証資料

伊東弥香（2019).「英語科教職課程履修生の学びと教員養成コア・カリキュラム（英語）―非教員養成系・私立大学の場合―」、『青山学院大学教育学会紀要』、第 63 号、青山学院大学教育学会。
https://opac.agulin.aoyama.ac.jp/iwjs0011opc/bdyview.do?bodyid=TF01308068&elmid=Body&fname=50293.pdf.
Access 29 Sep.2025.

宇野光範（2018).「英語科教育法におけるコアカリキュラムの適用」、『教職課程・実習支援センター研究年報』、第 1 巻、神戸親和女子大

学。
大沢茂（1965）.『現代英語科教育法の研究―学習心理学的考察―』、大阪教育図書。
粕谷恭子研究者代表（2021）.「「英語教員養成コアカリキュラムの検証と具体的・包括的プログラムの開発」報告書」、2018 年度～2020 年度科学研究費補助金基盤研究（B）18H00687。https://www2.u-gakugei.ac.jp/~coretgu/pdf/koakari_honbun.pdf. Accessed 29 Sep.2025.
教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会（2017）.「教職課程コアカリキュラム」. https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/11/27/1398442_1_3.pdf. Accessed 11 Sep.2025.
佐々木隆 a（2004）.「大学の教職課程と教員養成における英語教育」、『武蔵野英語教育研究』、第 1 号、武蔵野英語教育研究会。
佐々木隆 b（2004）.「教員養成のための英語教育」、『異文化の諸相』、第 25 号、日本英語文化学会。
佐々木隆 c（2005）.「学習指導要領と英語教員養成」、『武蔵野英語教育研究』、第 3 号、武蔵野英語教育研究会。
佐々木隆 d（2008）.「新しい学習指導要領と小学校英語について」、『武蔵野英語教育研究』、第 2 巻第 2 号、武蔵野英語教育研究会。
佐々木隆 e（2011）.『英語教育の行方』、イーコン。
佐々木隆 f（2017）.「英語科教育法に関する一考察―実践例と今後の展開―」、『武蔵野教育研究』、第 3 巻第 6 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 g（2017）.「身近な英語で教材作成―文学・映画・アニメ」、『平成 28(2016)年度　教員免許状更新講習　講習録』、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学。56－57
佐々木隆 h（2018）.「身近な英語で教材研究―文学・映画・アニメ」『平成 29(2017)年度　教員免許状更新講習　講習録』、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学。45-46

佐々木隆 i（2019）.「身近な英語で教材作成［英語文学］～文学・映画・アニメ・スピーチ」、『平成 30(2018)年度　教員免許状更新講習講習録』、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学。114-119
佐々木隆 j（2020）.「身近な英語で教材作成［英語文学］～文学・映画・アニメ・スピーチ」、『令和元(2019)年度　教員免許状更新講習講習録』、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学。116－121
佐々木隆 k（2022）.「身近な英語で教材研究―文学・映画・アニメ」」、『令和 3(2021)年度　教員免許状更新講習　講習録』、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学。118-121
佐々木隆 l（2022）.「教育課程と学習指導要領：教職課程で取り扱うべき内容」、『新教育課程研究』、第 29 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 m（2022）.「『鬼滅の刃』を利用した教材研究：『鬼滅の刃 無限列車編』を中心に」、『新教育課程研究』、第 28 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 n（2023）.「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『転生したらスライムになった件』を事例として」、『新教育課程研究』、第 35 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 o（2023）.「英訳マンガから見る英語表現の一考察―『ドラゴンクエスト　ダイの大冒険』を事例として」、『新教育課程研究』、第 36 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 p（2024）.「英語教材研究の一考察：教材の考え方」、『新教育課程研究』、第 45 号、武蔵野教育研究。
佐々木隆 q（2024）.「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『葬送のフリーレン』を事例として」、『新教育課程研究』、第 51 号、武蔵野教育研究会。
佐々木隆 r（2025）.「マンガ・アニメを利用した英語教材研究」、『武蔵野学院大学大学院研究紀要』、第 18 輯、武蔵野学院大学。
産経オンライン英会話 Plus（2025）.「中学生・高校生に身近なテーマ 20 選「トッピクトーク for students」リリース」

https://human.sankei.co.jp/news/notice/20250527/ Accessed 26 Sep.2025

柴田義松（1980）.「教材研究の課題」、吉田昇・長尾十三二・柴田義松編、『授業と教材研究』、有斐閣。

周郷博（1959）.『現代教育用語辞典』、大日本出版。

高瀬央樹他編（2017）.『英語教材完全ガイド 2018』、晋遊舎。

中村一也（2015）.『僕が無料の英語マンガで楽に TOEIC900 点を取って、映画の英語を字幕なしでリスニングできるワケ』、扶桑社。

萩原弘子（1992）.「英語の授業における視聴覚教育の役割」、東眞須美編、『英語科教育法ハンドブック』、大修館書店。

長谷川潔・森住衛編（1988）.『英語教育教材事典　楽しく学ぶ英語の教材』、大修館書店。

羽鳥博愛（1994）.『英語教育の心理学』、大修館書店。

ベネッセ教育総合研究所 a（2014）.「中高生の英語学習に関する実態調査　2014」

https://berd.benesse.jp/up_images/research/Teenagers_English_learning_Survey-2014_ALL.pdf. Accessed 2.July.2023.

ベネッセ教育総合研究所 b（2022）.「ダイジェスト版　高 3 生の英語学習に関する調査＜2015-2021 継続調査＞」、ベネッセ教育総合研究所。

https://berd.benesse.jp/up_images/research/kousaneigo2021.pdf. Accessed 2.July.2023.

みんなのランキング（2025）.「【人気投票 1~85 位】高校生漫画人気ランキング！高校生が登場するおすすめの漫画は？」

https://ranking.net/rankings/best-high-school-students-manga#js-result Accessed 25 Sep.2025.

文部科学省（2018）.『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』、文部科学省。

https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf. Accessed 13 Aug.2025.

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課 a（2025）.『教職課程認定申請の手引き（教員の免許状授与の所要資格を得させる ための大学の課程認定申請の手引き）（令和８年度開設用） ＜本体＞』、文部科学省総合教育政策局教育人材政策課。
https://www.mext.go.jp/content/20250217-mxt_kyoikujinzai01-000003171_00.pdf. Accessed 11 Sep. 2025.
文部科学省総合教育政策局教育人材政策課 b（2025）.「4-2 外国語（英語）コアカリキュラム対応表」。教職課程認定申請様式。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kyoin/080718_1.htm
Accessed 11 Sep.2025.
BEST PRESENT Ranking（2025）.「少年漫画・コミックのプレゼント」ランキング 2025(中学生)」
https://bestpresent.jp/tyuugakusei/book/manga-mens-book/
Accessed 25 Sep. 2025.

【キーワード】教職課程、英語科教育法、コアカリキュラム、学習指導要領、教材研究

『新教育課程研究』（第 50 号）以降の佐々木隆掲載のアーカイブ

「新課程における「総合的な学習の時間の指導法」の実践報告」（第 50 号、2024 年 9 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『葬送のフリーレン』を事例として」（第 51 号、2024 年 10 月）
「教職課程と『生徒指導提要』」（第 52 号、2024 年 11 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『HUNTER×HUNTER』を事例として」（第 53 号、2024 年 12 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『はたらく細胞』を事例として」（第 54 号、2025 年 1 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『ドラえもん』を事例として」（第 55 号、2025 年 2 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『美味しんぼ 』を事例として」（第 56 号、2025 年 3 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『名探偵コナン 』を事例として」（第 57 号、2025 年 4 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『妖怪ウオッチ』を事例として」（第 58 号、2025 年 5 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『薬屋のひとりごと』を事例として」（第 59 号、2025 年 6 月）
「教師のマインドセット」（第 60 号、2025 年 7 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『DEATH NOTE』を事例として」（第 61 号、2025 年 8 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『ONE PIECE』を事例として」（第 62 号、225 年 9 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『ハイキュー!!』を事例として」（第 63 号、2025 年 10 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『無職転生』を事例として」

（第 64 号、2025 年 11 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『佐々木とピーちゃん』を事例として」（第 65 号、2025 年 12 月）
「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『ダンジョン飯』を事例にして」（第 66 号、2026 年 1 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『異世界食堂』を事例にして」（第 67 号、2026 年 2 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『異世界のんびり農家』を事例にして」（第 68 号、2026 年 3 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『異世界居酒屋「のぶ」』を事例にして」（第 69 号、2026 年 4 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『異世界失格』を事例にして」（第 70 号、2026 年 5 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『アラフォー男の異世界通販』を事例にして」（第 71 号、2026 年 6 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『魔道具師ダリヤはうつむかない』を事例にして」（第 72 号、2026 年 7 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『スライム倒して 300 年、知らないうちにレベル MAX になってしまった』を事例にして」（第 73 号、2026 年 8 月）
佐々木隆「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『Lv2 からチートだった元勇者候補のまったり異世界ライフ』を事例にして」（第 74 号、2026 年 9 月）

執筆者一覧

佐々木　　隆　　武蔵野学院大学教授

新教育課程研究　第75号
2026年10月30日　発行
武蔵野教育研究会　編集・発行

〒350-1328
埼玉県狭山市広瀬台3丁目26番1号
武蔵野教育研究会事務局
武蔵野学院大学　佐々木隆研究室

Studies on New Curriculum

Number 75

30 October 2026

The Society of Musashino Education Studies